

10. 高等部の生活

自身の個性を生かし、仲間とともに健康で充実した学校生活を過ごすことを通して、卒業後、自分らしく自立的に生活できるよう、以下の点に重点を置く。

- 自分の考えや意見をもち、話し合う等して学校生活に参画し、主体的に生活できるようにする。
- 心身の健康の保持増進に努め、安全・衛生を含む態度や習慣を身に付けられるようにする。
- 産業現場等における実習を中心に、卒業後の生活を経験し、必要な知識、技能、態度を身に付けられるようにする。
- 社会の一員として生活できるよう、集団生活でのルールを守ると共に、自分の役割を理解し、果たせるようにする。
- 卒業後のより良い生活につなげられるよう、自分のことは自分で考え、行う態度や習慣を身に付けられるようにする。また、家庭や関係諸機関との情報交換を丁寧に行うとともに、生徒の意思を尊重した進路決定ができるようにする。

(1) 学級編成と生徒数

学 年	男	女	計
1 年	7	0	7
2 年	6	2	8
3 年	6	3	9
合 計	19	5	24

(2) 週日課表

曜 時	月	火	水	木	金
9:00	登校・着替え				
9:30	個別課題学習・SHR				
10:15	全校朝会 (月1回)	朝の運動 (保健体育)			
12:00	作 業 学 習				
13:00	給 食 昼 休 み				
13:50	児童 生徒会	「職業／家庭」※学年又はグループ 「音楽／美術」※学年単位 「スポーツ (保健体育)」※グループ			
14:20	チャレンジタイム (個別課題学習／自立活動)				
14:30	清掃				
15:00	着替え・SHR				
15:30	下校指導				

(3) 一日の生活の流れ

① 登校・着替え（～9：00）

登校後、連絡帳を出すなど自分の荷物を整理し、着替えをする。

② 個別課題学習・SHR（9：00～9：30）

個別課題学習では、生徒の実態に応じた弁別課題や読み・書き・計算などの学習やクラスの係活動に取り組む。SHRでは、出欠の確認や健康観察、日程の確認を行う。

③ 全校朝会（月曜日9：30～10：15）

内容は、小学部の項に同じ（p9参照）。

④ 朝の運動（火～金曜日 9：30～10：15）

内容は、中学部の項に同じ（p12参照）。

⑤ 保健学習（毎月1回、年間10回程度、金曜日 9：30～10：15）

卒業後の生活を見据えて、心と身体健康や発達、病気の予防や健康的な生活、人との望ましいかかわり方等について学習する。

⑥ 作業学習（10：15～12：00）

高等部生活の中心の活動である。作業班は、木工班、農耕班、工芸班の3班からなる。学年・学級をこえた、いわゆる縦割り編成とする。生徒の希望や個性、作業班の実情などを考慮して所属を決定する。

各作業班とも、それぞれに主要な製品・生産物を定め、年間、ほぼ恒常的に取り組んでいる。生徒が目当てや見通しをもち、意欲的・主体的に取り組めるよう、時期ごとにテーマを設定し、活動にまとまりや節目をつけて、展開するようにしている。

どの作業班も、完成度の高い製品やよりよい生産物を作ることに努めている。また、製作・栽培活動を中心に、原材料の注文や購入、販売活動や会計処理にも積極的に取り組み、一連の流れを生徒が主体となって運営できるようにしている。

木工班 鍋敷き、皿、マルチボックス等を主要製品としている。道具・補助具を工夫することで、一人一人が工程を担当し、力を合わせて、より良い製品の製作に努めている。

農耕班 学校敷地外に畑を借り、無農薬でジャガイモ、ダイコン、ポップコーン等を栽培している。季節野菜の栽培や直売、ポップコーン等の加工品作りにも取り組んでいる。

工芸班 本格的な織り機で布を織って、コースター、コインケース等を作っている。また、本草によるキーホルダー、ペン立て等の製品の製作に取り組んでいる。

⑦ 給食（12：00～13：00）

運搬・配膳等を協力して行い、各学級に配膳した後、学級ごとに給食をとる。

※⑧～⑪は諸行事や時期により、重ならないように設定

⑧ 音楽（13：00～13：45）

時期や諸行事と関連させて合奏やダンス、手話を交えた合唱などに学級単位で取り組む。

⑨ 美術（13：00～13：45）

時期や諸行事と関連させて素材とじっくり関わる造形や絵画などに学級単位で取り組む。

⑩ スポーツ（13：00～13：45）

キックベースボール、ティーボール、ポッチャ、サッカー、グラウンドゴルフ、水泳、フライングディスク等、豊かなスポーツライフの実現につながるよう2グループ程度に分かれて様々な競技や種目に取り組む。

⑪ 職業／家庭（13：00～13：45）

「産業現場等における実習」に向けての準備に加え、働くことの意義や役割を理解することに重点を置き、賃金とその使い道、余暇の過ごし方、日常生活で使う道具・器具の使用、掃除など、将

来の生活に必要な活動に学級やグループ単位で取り組む。

⑫ チャレンジタイム（月～金曜日13：50～14：20）

主として、個別課題を中心とした学習を行う。生徒の実態や課題、ニーズ等に応じた弁別課題や読み・書き・計算などの学習をしたり、手指の巧緻性を高める、認知・コミュニケーションの力を高めるための学習に取り組んだりする。期間により、学級で集団での学習にも取り組む。

⑬ 道徳（教育活動全体を通じて各学習の中で取り組む）

生徒の実態に応じて、他者とよりよく生きるための道徳性を身につけられるようにルールやマナー、伝統や文化等について家庭と連携しながら取り組む。

⑭ 児童生徒会（毎月1回程度 月曜日13：00～13：45）

内容は、中学部の項に同じ（p13参照）

⑮ 清掃・着替え・SHR（14：20～15：00）

各教室、集会室、トイレなど担当場所の清掃を行う。清掃が終わった生徒は、下校に向けて着替え・荷物整理等を行う。帰りのSHRでは、一日の振り返り、翌日の日程確認等を学級で行う。

⑯ 下校指導（15：00～15：30）

(4) 産業現場等における実習

実習の場を、企業や作業所等に設定し、卒業後の働く生活を目指して、より実践的な働く力を身に付けることを主たる目的とする。

- ・原則として、実習先事業所の勤務条件に合わせて実習を行う。
- ・原則として、前期、後期ともに一人1事業所とし、担任は巡回訪問する。

・期 間

6月	2週間	2年生・3年生（1年生は校内実習）
9・10月	2週間	1年生・2年生・3年生
適宜		各学年で必要とされる生徒に限って随時行う